

「万博」には、人・モノを呼び寄せる求心力と発信力があります。

大阪・関西万博は、“未来を創る”ビッグ・チャンスです。この貴重な機会をご活用ください。

テーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」

一人ひとりが自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、世界が共創（Co-Creation）していくことを推進していきます。



「いのち」の誕生から38億年

サブテーマは、「3つのLives」

～「いのち」というキーワードには、様々なテーマが含まれています～

Saving Lives いのちを救う

一人ひとりの「いのち」を守る、救うことに焦点

（例）公衆衛生の改善による感染症対策、防災・減災の取組による安全の確保、自然との共生による環境の保護等



Empowering Lives いのちに力を与える

一人ひとりの「生活」を豊かにする、可能性を広げることに焦点

（例）ICTを活用した質の高い遠隔教育の提供、スポーツや食を通じた健康寿命の延伸、AIやロボット技術の活用による人間の可能性の拡張等



Connecting Lives いのちをつなぐ

一人ひとりがつながり、コミュニティを形成して社会を豊かにすることに焦点

（例）パートナーシップ・共創の力、通信技術によるコミュニケーションの進化、データ社会のあり方等



コンセプトは、「未来社会の実験場」 ～People's Living Lab～

■万博会場は、社会実装に向けて、新しいアイデアや技術が施行される実験場に
～1日平均15万人が来場する「**半年間の壮大な実験のまち**」となります～

～2025年に向けた“プロセス段階”から参画していただき、
一緒に考え、共創する “**新しい参加型の万博**”になります～

<PLL促進プロジェクト>

■多様な企業の参画と共創をはかり、開催前より万博会場内外での
実証実験を通じて、イノベーション・技術革新を促進

・People's Living Lab（PLL）促進会議には、未来社会の実験場の実現に
向けて、企業・団体から1,016件ものアイデアが寄せられました。

（2020年5月「中間報告」）



イメージ図：会場での最新技術の実証

2020年～ 開催前のプロセス段階 からの参画を



2025年 万博会場での参画を

■バビリオン出展（単独出展、共同出展）

■テーマ館への参画（フォーカスエリアの展開）

■会場設営等での参画（“未来社会の実験場”等として活用）

各地で実施される 万博との連携事業への参画を

■自治体や企業・団体などが展開する万博連携イベントや事業など

<SDGs共創プロジェクト>

■万博会場を「SDG s 甲子園（仮称）」に

・開催前から、社会的課題に取り組む大学、自治体、NPO、個人、企業による組織を越えた
共創を促進していきます。

◆現在、万博開催に必要な事業の方針や考え方をまとめたマスタープラン「基本計画」の策定が進んでいます。

◆みなさんへの具体的な提示はその後となりますが、すでに2025年に実現したいサービスや技術の開発を表明している企業が、
多数あります。

◆大阪・関西万博がSDGs達成に貢献し、**日本そして世界を「いのち輝く未来社会」に変えていくためには、企業のみなさんの
参画が不可欠**です。ぜひ、積極的な参画をお願いします。

●1970年大阪万博会場で提案された技術・サービスが、現在の社会に実装され、人々の豊かな生活に寄与しています。

大阪・関西万博は、国境・世代・空間などの境界を超えて、様々な人・組織・企業がつながり、**共創をはかっていく新しい
万博**になります。大阪・関西万博会場で、**革新的な技術開発やサービスに、ぜひ挑戦**してください。

●大阪・関西万博は、**社会課題解決への取組みを、事業として持続的なビジネスに発展させる大きなチャンス**になります。
中小企業、ベンチャー企業、起業家の方も、大阪・関西万博にぜひ参画してください。

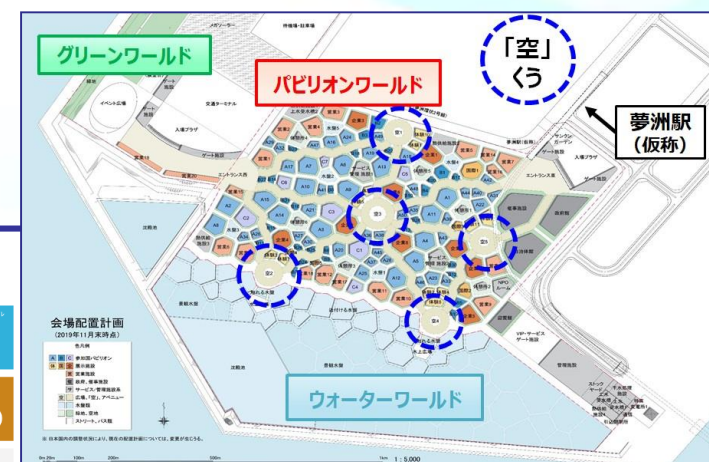
●2,800万人からの**ビックデータを活用して、イノベーションにつなげるアイデアを、万博会場でぜひ実現**してください。

●万博会場と日本各地がつながり、**地域の産業、サービス、観光などの魅力を、世界に発信**する大きなチャンスです。
大阪・関西地域のみならず、**日本全国からの参画をお待ち**しています。

6つのフォーカスエリア（案）



テーマから想定される具体的な展示分野を
“フォーカスエリア”として設定。
テーマ館として展開する予定です。



会場の5か所に、「空（く）」と呼ばれる大広場を設置。主要なイベントや
展示を行い、来場者同士の新たな交流を生む場所になります。



BIE(博覧会国際事務局)加盟国は170か国（2020年3月現在）



開催地「夢洲」の上空図



海に囲まれ、関西・瀬戸内海・アジアとつながる会場に
なります。



第3回 PLL促進会議の様子
約300もの企業・団体等が参加しました。



2030年SDGs達成に向けた取り組みを
加速させる万博です。